

藤道けんじは働きます！ 萩市の未来のために!!

- 「藤道けんじ」は市民との対話を優先して全力でまちの改革に取り組みます。
- 「藤道けんじ」は[予算はモノから人へ]の信念のもと、子供に優しくお年寄りに温かいまちを実現します。
- 「藤道けんじ」は[働ける萩][楽しめる萩]そして[住みよい萩]を目指します。



藤道けんじ 萩市政の再起動。

■萩市民くらし満足度ナンバーワンに!■

- ハコモノ予算の全面見直しに全力。
- 滞在型観光地への取り組みに全力。
- 地域産業の再生・活性化に全力。
- まちの賑わい創出に全力。
- 市全域で均衡ある発展に全力。
- 若者の「くらし満足度」向上に全力。
- 福祉と医療介護体制の整備に全力。
- くらしに密着した交通網に全力。

萩市長候補

ふじ みち

藤道けんじ

昭和34年8月生まれ(57歳)
 明倫小学校・明経中学校・萩高等学校卒業
 一橋大学経済学部卒業
 日本長期信用銀行/
 中小企業金融公庫(現日本政策金融公庫)/
 平成28年 萩市に戻る



のむら 野村けんじ

(72才)

今、萩市に求められているのは継続した強力な推進力です

榎東小・第一中・萩高・京都大学卒
 大蔵省勤務を経て平成五年十月 旧萩市長
 平成十七年三月 新萩市の初代市長(三期目:現在に至る)

平成の大合併によって「新萩市」が誕生して十二年、新市の諸課題に精力的に取り組んできました。合併の定着化を図るため地域の一体感の醸成や、農林漁業、商工業等の振興、高齢化、子育て支援対応、医療問題対策、萩・小郡道路、山陰道等の早期整備に努めてきました。解決した分野もありますが、まだまだ課題山積です。地方都市の共通の問題である超高齢社会、若者の定住への取組は待たなしの状況です。

卓越した「市民力」、「地域力」を結集し、市民協働によるまちづくりを進めていきます。

「この地を終の住み処としてよかった」そういうまちをめざして

「公平」「公正」な萩市政を皆さまとともに
 驕らず、怯まず、果敢に取り組む決意です。

- 一 誰もが暮らしやすいまちづくり
 戦中、戦後の厳しい時代に家庭を守り、我が国の再生に苦勞された高齢者世代を大事にしよう
 - (1) 健康長寿を目指して
 - (2) 地域で支えあう福祉力の増進
 - (3) 地域医療体制の確保
 - (4) 高齢者・障がい者福祉の充実
- 二 若い力の定着と萩の未来を切り拓くひとづくり
 人口減少対策として策定した萩版「地方総合戦略」の着実な実施

- 三 萩の明日を担う産業の振興を目指して
 - (1) 活力のある農林水産業の振興
 - (2) 特色のある地場産業の振興
 - (3) 将来につながる後継者の育成・確保
 - (4) 地産地消・地産他商の推進
 - (5) 小郡萩道路・山陰自動車道の早期整備
- 四 災害に強いまちを目指して
 - (1) 萩市東部の災害の復旧・復興
 - (2) 防災・減災の推進
 - (3) 防災行政無線等の通信・情報網の整備
- 五 萩にあるもの、萩にしかないものの活用
 - (1) 萩・明倫学舎の活用等、萩・明治維新一五〇年記念事業の展開
 - (2) 萩まちじゅう博物館構想の推進
 - (3) 日本ジオパーク認定を目指して
 - (4) 萩ブランドの発信強化
 - (5) 世界遺産関連の充実・整備

この選挙公報をよく読んで自分の考えで一票を投じましょう